



# 智恵忌と町衆

続けれています。当時、格別の寄付を遺された方とはいえ、江戸中期から今日まで、毎年欠かさず続けられたのは、町内の一人ひとりが心底町内を愛し、また、町民の心からの連帯を願う証なかもしません。

玉津島町のこれから下期は、次々と行事に追われる時期となります。

7月25日には、新玉津嶋神社内に鎮座する松原天満宮祭、8月28日は、同じく秋葉社祭があり、町内挙げて祭典を執り行います。

10月初旬には、智恵忌と呼んでいる法事を催します。この智恵忌とは、町内へ後た智恵禪定尼の追悼のためのもので、宝曆六年からじつに二百二十年にわたって

## 変わらぬ家並

人そして行事



(玉津島町)

昭和62年度御供石町行事予定が、4月初めに決定されました。が、その中に、1月に予定されています「修徳ふれあい広場」への町内あげての参加を、町内レクレーションに変えようと云うのがあります。年々レクレーションへの参加者が減る一方である時、この決定は大変すばらしい決断だと考えます。この学区挙げての行事は、親睦を深めるためにも多数の参加を望めるものであります。是非成功させたいと願っております。



また町内には、ワールドマンションが真近かにオーブンとなります。町人口

## 一味ちがう地蔵盆

(御供石町・滋賀)

昭和62年も、都市再開発の波が押し寄せてきました。西尾医院も近日中に4階建のスマートな姿に変身します。当町もいよいよ近代化して来られ、4階建の近代的なビルが建ちました。一階

には今までの町内には考えてみなかつたフランス料理の店がオープンしました。

二・三日の二日催しました。

一日目は、例年通り、一日

が今年のメインで、近く

のフランス料理店、「ウインズ」を貸切り、テープルに並んだ豪華な料理を舌鼓みながら、町内初めてのカラオケ大会となりました。

修徳校のプールをお貸りし

て午前十時半から午後三時

半迄泳ぐ事になり、薮下町

親クラブの方々と合同で、

このことは皆自らわからず、

デパートになるとか話は出

ますが、憶測であり、ほん

どこの事は皆自らわからず、

歌子は幼児から男女大人ま

で、時のたつのを忘れて歌

い続け、和氣あいあいの一

ラオケ大会となりました。

歌子は幼児から男女大人ま

で、時のたつのを忘れて歌